

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ラポール前橋合同会社	代表者	姓原 桂子	法人・事業所の 特徴	和やかに、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、「通い」「訪問」「泊り」の柔軟な組み合わせを行い、各事業所・スタッフが支援している。 地域の中で“ゆったり 一緒に楽しく ゆたかに”を理念に福祉事業に努めている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 樹の花やまぼうし	管理者	姓原 飛鳥		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	3人	1人	0人	0人	0人	3人	0人	0人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価を継続して実施する。取組み内容を明確にし、説明を行う。	自己評価は継続して実施できている。	取り組んでいることを確認する事が出来た。	取組み内容を明確にし、説明、報告が出来るよう努めます。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所内の整理整頓を徹底し、清潔を保つ。	整理整頓は安全性も高める事なので意識をして行っている。掃除をこまめに行い、居心地のいい空間になるよう配慮出来ている。	室内は常に明るく過ごし易そうだ。利用者はもちろん、地域の人たちも気分良く行き易い。	利用者様の過ごし易い環境整備に努め、地域の方々も出入りし易い事業所となるように行っています。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事やイベントに参加する。	行ける限り、参加は出来ている。	スタッフの人たちは全員いつもにこやかに挨拶し気持ちいい。	地域の行事やイベントに参加すると共に地域の方々が事業所に来られる機会をつくり、関わりを持てるようにしたいと思います。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご利用者やご家族に聞き取りなどを行い、地域環境を理解する。	出来る範囲でご利用者やご家族から聞き取りをしているが、情報が少ない。	利用者様が人生を語られ、職員が興味深く聞いている様子が伺えた。	職員と地域の方々が顔見知りとなれるような機会を増やして行きたいと思っています。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の方からの情報を地域と事業所で共有し、意見交換を行い、改善に向け地域と一緒に取り組む。	地域の方との情報の共有、意見交換は行っているが、改善に向けての取組みが出来ていない。	地域の人たちの意見が活発に発言されて意義ある運営推進会議だと思う。	地域の方々と意見交換を行い、事業所が地域に浸透していけるような取組みに努めたいです。

F. 事業所の 防災・災害対策	事業所や地域の防災・災害対策を地域の方と情報を共有する。	事業所がある地区では防災組織が確立しておらず、対策が不十分であり、地域の方との情報が乏しい。	総社町大渡地区では防災組織が出来ていないのが現状。	地域の方々と防災・災害対策に対する情報を共有し、意見交換をしていきたいと思えます。
--------------------	------------------------------	--	---------------------------	---

